

第7回戦術委員会確認事項

2018年4月16日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日14時30分より第7回戦術委員会を開催し、回答状況の把握を行うとともに、JC共闘の今後の進め方を確認した。

1. 大手組合を対象とする集計対象組合は、全組合が交渉を終結した。全55組合が賃上げを要求し、53組合が賃上げを獲得した。平均賃上げ額は1,542円となった。

JC共闘の全体集計は、4月3日の発表以降、次回は4月24日を予定しているが、本日段階において各産別が把握している回答状況を見ると、要求提出組合の7割弱で回答を引き出している。回答引き出し組合の7割を上回る組合が賃上げを獲得しており、賃上げ獲得組合の割合は、昨年を大きく上回っている。

また、JC共闘全体として、賃上げ獲得額が昨年を上回るとともに、中小労組が大手労組以上の賃上げ額を獲得する傾向が継続しており、賃金の底上げ・格差是正の取り組みが前進している。

2. 金属労協は、賃上げの裾野を拡大し、中小労組が大手労組と同水準以上の賃上げを獲得する流れを着実なものとするべく、後に続く組合の取り組みをJC共闘全体で支えていく。

また、有期雇用の無期転換については、金属労協の方針に則して取り組む。非正規労働者の賃金・労働諸条件の改善に向け、引き続き強力に取り組む。特定（産業別）最低賃金の引き上げ・新設に向けて、企業内最低賃金協定の締結拡大・水準引き上げをさらに前進させる。加えて、働く者の立場から、職場の課題解決に資する働き方の見直しに向け、協議を深めていく。

金属労協は、引き続き共闘体制を維持し、各組合は、産別指導の下、精力的に交渉を展開し、速やかに決着を図ることとする。

3. 4月下旬段階の金属労協全体の闘争状況は、4月24日に集計を行い、公表する。
次回第8回戦術委員会は、5月23日に開催する。

以上